

喪失体験をした子どもたち

～ 周囲の大人が寄りそい、支えるために～

安心

希望

夢

つながり

自信

家

遊び場

日時： 2014年 4月 19日 (土)

時間： 午前 10 時～12 時 30 分
(受付 9 時 30 分～)

会場： 福島テルサ 3階「あづま」
(福島県福島市上町 4 番 25 号)



東日本大震災から3年が経ちましたが、いまだに震災は私たちの生活に大きな影響をおよぼしています。身近な人との死別・離別、ふるさとに帰れない、安心して外で遊べない、健康への不安など、子どもたちは様々な喪失体験をしています。それにより、集中力が落ちた、甘えるようになった、暴力的になった、いい子になりすぎる、などの変化が起こる場合もあります。

様々なものを失ってしまい大きな喪失体験を抱えた子どもたちには、どのようなサポートが必要で、私たちには何ができるのでしょうか。親や教員、親戚や近所の人、そして子どもに関わる仕事や活動をしている方など、子どもの身近にいる人が、子どもの喪失体験にどう接し、どう支えることができるのかを、福島で子どもの支援活動に取り組む方々をお迎えし、皆様と一緒に考えます。

タイムスケジュール

10:00～10:50	子どもたちの喪失体験を理解する NPO 法人子どもグリーフサポートステーション 西田正弘
10:50～11:00	休憩
11:00～11:30	震災から3年目を迎える福島の子どものたち 東日本大震災中央子ども支援センター 中鉢博之氏
11:30～12:00	子どもたちの声・寄りそう大人の役割 チャイルドラインこおりやま 小笠原隼人氏
12:00～12:30	質疑応答

定 員：60名

参加費：無料

参加方法：NPO 法人子どもグリーフサポート
ステーションまでお申し込みください。

※お申し込み方法は裏面をご覧ください。

主催：NPO 法人子どもグリーフサポートステーション
協力：東日本大震災中央子ども支援センター福島窓口
チャイルドラインこおりやま

後援：福島県 福島県教育委員会
福島市 福島市教育委員会

この事業は、朝日新聞厚生文化事業団によせられた東日本大震災救援募金によって運営されています。

ファシリテーター研修会のお知らせ

本講演会后、19日午後～20日にファシリテーター（ボランティア）研修会を開催いたします。研修会では、喪失体験をした子どもをサポートするための知識と、寄りそうためのスキルを学びます。よろしければぜひご参加ください。2014年度より、福島県内で子どものグリーフサポートプログラムを開始する予定です。ファシリテーターとして、喪失体験をした子どもへのグリーフサポート活動に参加してみませんか。

※ファシリテーター研修会に参加される方は、19日の講演会への参加が必須です。

〈ファシリテーター研修会〉

- ◆日 時：4月19日(土) 13:30～16:30
4月20日(日) 10:00～16:00
- ◆会 場：福島テルサ 4階「つきのわ」
- ◆定 員：30名 ※要申込 4/15締切
- ◆参加費：一般4,000円 学生3,000円(テキスト代含)
- ◆参加方法：講演会の申込時に、「ファシリテーター研修会参加希望」とお伝えください。講演会の申込方法は裏面をご覧ください。

登壇者紹介

西田正弘

NPO 法人子どもグリーフサポートステーション代表

年間交通遺児、病気遺児、自死遺児等を支援する民間団体（交通遺児育英会、あしなが育英会）に勤務。

自殺者急増に対応して2000年から自死遺児のケアに取り組む。NPO 法人自殺対策支援センターライフリンク立ち上げにも関わり、副代表として自死遺族の分かち合いの場づくりを全国に展開した。

2007年から2011年10月まであしながレインボーハウスでチーフディレクターをつとめる。東日本大震災以降現地に入り津波で親を亡くした子どものケアにも取り組み、2013年2月NPO 法人子どもグリーフサポートステーション設立、代表に就任。

東日本大震災中央子ども支援センター外部アドバイザー。

中鉢博之

東日本大震災中央子ども支援センター福島窓口 主任コーディネーター
特定非営利活動法人ピースふくしま 理事

学生時代より一貫して、「地域の中での子どもの育ち」ということに関心を持ち続ける。大学卒業後は、福島でフリースクール設立に携わり、特定非営利活動法人ピースふくしまで、13年にわたり支援の現場や団体運営に携わる。震災後は地域コミュニティの再生を

目指す「うつくしまふくしま子ども未来応援プロジェクト」を立ち上げ、避難をしている子どもの支援を開始。2012年4月に東日本大震災中央子ども支援センター福島窓口主任コーディネーターとして、福島県内の子どもに関わる支援者の支援、県外避難の子どもへの支援、福島県内の子ども支援の専門職の派遣・コーディネート等の事業等を統括する。

NPO 法人子どもグリーフサポートステーション

東日本大震災や病気、事故、自死などでたいせつな人をなくした子どものサポート活動を行う。

平成24年11月、仙台市青葉区に朝日新聞厚生文化事業団とともに拠点を立ち上げ活動に取り組んでいる。震災前から宮城県でグリーフサポートに取り組んできた仙台グリーフケア研究会の子どもを対象にした活動も引き継いでいる。平成25年2月に法人格取得。4月より、陸前高田市に職員を1名常駐させ、宮城県及び岩手県沿岸地域での活動を開始。

現在、小中学生を対象に月2回のグリーフプログラムを仙台市と陸前高田市で開催。その他、高校生プログラム（仙台市）、ファシリテーター（ボランティアスタッフ）養成、グリーフキャンプへの協力等を行う。

全国で子どものグリーフサポートの輪を広めるべく普及啓発に取り組んでおり、札幌、福島、東京、大阪、福岡で現地の有志とともに場づくりに取り組んでいる。朝日新聞厚生文化事業団に寄せられた東日本大震災救援基金により運営している。

小笠原隼人

チャイルドラインこおりやま 事務局長

大学3年次に母親が急死。深い喪失感と向き合う中で、グリーフサポートの重要性を感じ、卒業後は「葬儀相談員」を仕事として、3年間で全国から1231件の葬儀・お墓に関する相談を受ける。

2012年8月より福島県に移住。震災や原発事故による喪失感からストレスを抱えた子どもたちに寄り添うため、18歳以下の子どもの気持ちを電話で聴く「チャイルドライン」のサービスを郡山市にて立ち上げ、事務局長に就任。

2012年に子どものグリーフサポートのためのファシリテーター養成講座を受講。

参加お申し込み・お問い合わせ

- ①お名前 ②お電話番号
③ご職業・ご所属

以上を明記のうえ、メール、FAX、電話、申込フォームのいずれかにてお申し込みください。

申込締切：4月15日（火）

※ファシリテーター研修会に参加を希望される場合は、申込時にお伝えください。

申込はこちら

電話 022-796-2710

メール info@cgss.jp

FAX 022-774-1612

ホームページ www.cgss.jp

講演会
申込フォーム



会場地図



アクセス

- JR福島駅（東北新幹線、東北本線、奥羽本線）東口より徒歩10分
- 東北自動車道 福島西ICより車で20分
- 東北自動車道 福島飯坂ICより車で15分



主催・お問合せ先

NPO 法人子どもグリーフサポートステーション

電話：022-796-2710
（平日10～17時）

メール：info@cgss.jp

宮城県仙台市青葉区中央3-6-7

東日本建物仙台駅前ビル6階

http://www.cgss.jp/